

兵庫県保険医協会北阪神支部 在宅医療研究会

参加費無料

～群雄割拠の在宅医療～ 「外来から在宅医療までをシームレスに」

当院の場合

- 日時 **9月17日(土)** 15時～17時
- 会場 伊丹市産業振興センター 会議研修室A(4F)
(下地図参照〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-2-2/TEL072-773-5007/FAX072-778-6262)
- 講師 尼崎市・はせがわ内科 院長 **長谷川 吉昭** 先生
- 定員制 先着40人(COVID-19対策のため事前申込み制)

※感染対策を行います。マスク着用と手指消毒をお願いいたします。体調の悪い方はご参加ご遠慮してください。

昨今、在宅医療専門を謳うクリニックが増え在宅医療の世界はまさに群雄割拠の様子を呈しています。小生は「外来診療は在宅医療の始まり」「無駄な在宅医療は行わない」をポリシーとし、かかりつけの患者さんが最後まで自宅で生活できるように医療と介護を提供したいと思っています。現在、毎日の外来診療のほか常時100人以上の在宅患者を担当し、年間のお看取りを50人以上こなしています。在宅医療に決まったやり方や決まりはなく、多職種連携の重要性とスムーズな在宅医療の方法など、あくまでも当院の経験で培った内容を紹介したいと思っています。これから在宅医療に関わってみたい先生や訪問看護さんもお越しください。私ならこうするという意見も頂戴したいので在宅医療を実践中の方々も是非どうぞ、意見交換しましょう。

【長谷川記】

※お問い合わせは、北阪神支部担当事務局 (Tel 078-393-1840) 小川・大野まで

(切り取らずにご送信ください)

【お申し込み】 FAX:078-393-1802

在宅医療研究会(9/17)に()人参加希望します。

地区() 医療機関名()
 氏名() 職種()
 電話番号() FAX番号()



阪急伊丹駅から約7分、JR伊丹駅から約8分。お車の場合は、近隣の駐車場をご利用下さい。

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2022年9月15日号 No.329

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

運動対策の重点

75歳以上窓口負担2割化反対署名の重要性について

協会理事・北阪神支部副支部長 **林 宗茂** (伊丹市)



署名の重要性を訴える林宗茂先生

7月10日に参議院議員選挙が行われました。

全国保険医団体連合会(以下、保団連)は10月1日からの実施を予定されている75歳以上の窓口負担2割化の中止を目指し、請願署名の取り組み、国会議員との懇談、政党や他団体などへの要請を行ってきました。

これは、共産党による中止法案の提出や、立民、共産、社民各党が参院選の公約の2割化中止を掲げるという成果に結びついていると思われました。しかし、与党(自民党、公明党)の圧勝で幕を閉じてしまいました。

今回のこの署名で全国では135,670筆、兵庫県で9月7日時点で15,755筆、会員参加率23.5%のご協力を

を得ることができました。当院では診察室で患者さまに診療終了後に説明をして目の前で署名をして頂き、400筆以上を集めることができました。

このコロナ禍で物価高騰や年金引き下げの中での窓口負担の2割化は、受診抑制を引き起こし、高齢者の生存権を脅かすことになるのではないのでしょうか。今のこの時期ではなくコロナの感染状況が安定するまで、2割化を凍結させることによって、後期高齢者の生命を維持することが大変重要であると思われまます。そしてまた今後、医療・社会保障の充実した日本社会を作りたいことを希望します。

最後に、2022年の経済財政運営と改革の基本方針の閣議決定の中で、防衛予算費を5年以内に約11兆円に倍増することが決まりましたが、その5兆円超の財源があれば全ての窓口負担を無料にできるはずで。保団連は、「軍拡は中止し社会保障抑制から脱却すべきである」と強く批判しています。小生も医療関係者として大変賛同しております。今後も引き続き反対運動に協力していくつもりです。皆々様の署名のご協力に感謝いたします。有難う御座いました。まだ署名をお持ちの方は協会へお送りください。

突然の税務調査、こう対応

伊丹市医科 H



講師の中村税理士(左上)が、税務調査時の対応について解説

支部は7月16日に経営対策研究会を伊丹市内で開催し、会員の医師ら4人が参加した。神戸共同経理事務所の中村明税理士が「突然の税務調査、どう対応～税務調査の対策について～」をテーマに講演した。参加者の感想文を紹介する。

まだコロナ第7波の襲来も実感がうすく、暇な週末であったため(不謹慎)お膝元の北阪神支部経営対策研究会主催「突然の税務調査、どう対応～税務調査の対策について～」の講演に参加した。

生来数字とりわけ会計は苦手だが、令和3年度(令和4年3月申告分)の保険診療は一昨年度と比較して著減するも、自院の委託コロナの予防接種や市集団接種会場の個人出務や補助金収入が加わり、令和元年度や激減した令和2年度とは素人目にも様変わりした申告書であった。そのため税務調査という言葉に興味を持っていたのだろう。

講師の中村明先生は長年国税局で所得税・法人税の税務調査の第一線で活躍されておられたため、最近の税制改正や税とマイナンバーの関係から、調査の時期・期間、自費収入、消費税の収入や経費の各仕訳項目の注視している各項目についてなど、税務署側が考える税務調査について広く解説いただいた。

(次のページに続く)

(前のページより)

また調査を受ける側の税務職員への対応についても、カルテ等の個人情報の開示は任意であり、不必要なことや不明確なことは即答を避け、反面調査の同意も提出書類で代用するようお願いするよう説明された。特にコロナ禍では長期未接触の対象への調査は減少し、先述の収入や経費の仕訳項目等に注目して、申告税額から増差の見込める対象に絞る方針になっているとのことである。

盛りだくさんの内容であったが、質疑応答では出席者全員の全質問に的確に回答され、司会者の工藤大八郎先生(伊丹市・工藤歯科医院)からもご自身の豊富な経験を、会計の門外漢の小生に明快にご教示いただいた。この講演会で税務調査の実態に少しは近づいたようであり明日からは「突然の税務調査、こう対応」で臨めたらと思った講演であった。



幹事会だより

第420回 9月1日(木) 参加5人

◆北阪神支部の会員数と組織率

8/31 現在 医科 359人(74%)、歯科 213人(65%)

◆情勢と医療運動対策

支部総会を11月5日(土)に開催し、記念講演として、大阪大学免疫学フロンティア研究センター招聘教授・大阪大学名誉教授宮坂昌之先生に「新型コロナウイルスの効果、有効性と副反応」をテーマに講演いただくことが決定した。オンライン資格確認の義務化について議論された。

◆当面の支部活動

9月17日(土)15時00分～「～群雄割拠の在宅医療～外来から在宅までをシームレスに・当院の場合」を伊丹市産業新興センター会議研修室A・4Fで開催(4面に案内掲載)。

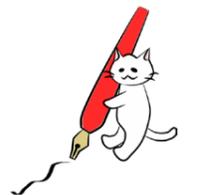
◆次回幹事会

10月6日(木)14時30分～「いたみホール 第3会議室(5F)」にて開催予定
お問い合わせはTEL 078-393-1817 小川・大野まで

☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。



TEL 078-393-1817 / FAX 078-393-1802 e-mail akane@doc-net.or.jp 担当:大野まで